

提出された意見の概要と市の考え方

NO	提出された意見の概要	市の考え方
1	新しい計画の策定を楽しみにしている。	いただいたご意見は、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。
2	学童保育について、地域（学校）によって施設に差があり、不公平感を感じる（佐古・助任は小学校内に新築や学校内の空き教室を利用した保育など）	児童の安全・安心な居場所づくりの観点から、学童保育クラブの実施場所については小学校敷地内が最も望ましいと認識しております。実施には、余裕教室の活用を優先し、それが難しい場合には、敷地内別施設や民間施設の借り上げで対応しております。今後も引き続き、小学校・教育委員会と連携をとりながら、放課後児童の居場所づくりの充実に努めてまいります。
3	学童保育の入所児童の選考について、保護者の選考ではなく、保育所と同じように市の管理にした方が公平性があるのではないか。	学童保育クラブへの入所に関しては、地域状況等を考慮した上で優先利用等を判断する必要があるため、地域組織の代表者や入所児童の保護者、子どもに関わる関係機関の代表者等で構成する運営委員会に入所手続を委託しております。本市としては、業務全般への相談及び助言、また事業連携の調整、支援員等募集に関して広報紙やHPを活用した広報による側面支援を行っており、今後においても各運営委員会と連携を図りながら、放課後児童の居場所づくりの充実に努めてまいります。
4	学童保育の指導員の育成・給与について、学童保育も子育て支援の一環であるならば、指導員の募集・教育・配置などもある程度、市の一元管理のもとに行うことはできないか。	支援員（指導員）等の雇用については、地域状況等を勘案する必要があるため、地域に精通した運営委員会により行っており、本市としては、広報紙への支援員募集記事の掲載やリーフレットの窓口設置など側面支援を行っております。 次に、教育及び配置については、研修会の実施や徳島県等が開催する研修の案内、また、監督・指導等により、本市が条例で定めた基準が遵守されるよう運営委員会と連携することで、放課後児童の居場所づくりの充実に努めてまいります。
5	国府小学校は生徒数も多く、年々、学童への入所希望者が増えているが、支援員の確保や保育場所の確保など多くの課題に直面しており、希望しても入れない子どもたちもたくさんいるが、それを保護者から選ばれた役員が運営などを担っている。 しかし、役員と言っても初めて引き受ける人も多く、全くの素人が自分の仕事をしながら掛け持ちをしている状況であり、支援員、事務職員の公募や待遇改善、保育場所の整備など、行政の援助が必要である。	支援員等の雇用については、地域状況等を勘案する必要があるため、地域に精通した運営委員会により行っており、本市としては、広報紙への支援員募集記事の掲載やリーフレットの窓口設置などによる側面支援を行っております。 次に、教育及び配置といった面につきましても、研修会の実施や徳島県等が開催する研修の案内、また、監督・指導等により、本市が条例で定めた基準が遵守されるよう、運営委員会と連携してまいります。 次に雇用者の処遇については、本市としては委託料に処遇改善加算を行うことで、事業に携わる方への待遇改善に努めております。 また、児童の安全・安心な居場所づくりの観点から、学童保育クラブの実施場所については小学校の余裕教室を初めとする小学校敷地内が最も望ましいと認識しております。 今後も引き続き、運営委員会に対しては相談及び助言、広報媒体活用による側面支援をもって、また、小学校・教育委員会とは連携をとりながら、放課後児童の居場所づくりの充実に努めてまいります。
6	地域の福祉施設で開かれている書道教室に子どもが通っているが、来年度は耐震不備のため施設が使えず教室が閉じられる。建て替えは音楽ホール建設などのために予算がないと聞いている。 子どもの居場所がどんどんなくなっており、音楽で徳島を盛り上げていくことも素敵なことだと思うが、もっと徳島市民が安心して子育てしながら仕事ができる、子どもたちが安心して生活できる環境が整備されるような改革を望む。	いただいたご意見は、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。

NO	提出された意見の概要	市の考え方
7	<p>西新浜は小さな子どものいる家が増えているが、幼稚園や保育所が遠くて困っている人もたくさんいるようであり、中には赤ちゃんができて引っ越していく人もいる。</p> <p>新しい計画では西新浜に保育所ができることになっているのか。</p>	<p>本計画において、待機児童の解消に向けて、計画期間中の令和2年度から令和6年度までの5年間で、認定こども園等の教育・保育施設の整備を進めることにより、徳島市全体で約700人の保育定員を増やすこととしております。</p> <p>施設整備の詳細については、今後、計画の実施段階で決定してまいります。</p>
8	<p>とくしま在宅育児応援クーポンを申請しようとする、三年前の世帯所得が規定を上回っているので利用できないと言われたが、結婚前の世帯収入と言われても、当時はフルタイムで働いていたので収入があったが、今は仕事を辞めて、2018年1月に県外から引っ越してきており求職中のため無収入で、夫の収入のみであればクーポンの規定内になる。</p> <p>せめて子どもを産んだ時点(2019年8月)での収入を見るか、収入に関係なく利用できるようにしてほしい。</p>	<p>とくしま在宅育児応援クーポンの交付条件のうち、所得の要件については、徳島県が定める実施要領において規定しています。</p> <p>この規定に照らしますと、8月に児童が出生した場合、当該年度の前年度の市町村民税所得割を用いて所得の要件を確認することとしており、平成29年(2017年)中の収入に係る平成30年度の父母の市町村民税所得割の合算額が、基準である16万9千円以上であったものと思われます。</p> <p>なお、今回いただきましたご意見については、本事業を所管する徳島県次世代育成・青少年課に対して報告しております。</p>
9	<p>産前・産後家事育児支援事業(ママに安心ヘルプ事業)がなくなったのは残念である。とても利用しやすいようであったが、なぜ、終了したのか。</p>	<p>本事業は、産前2カ月から産後1年まで利用可能の事業でありましたが、産前の利用者の低迷もあり、更に利用者を拡充し利用しやすいように、とくしま在宅育児応援クーポン事業へと移行しています。</p>
10	<p>乳児がいると外出も難しいので、在宅で利用できる子育て支援策を増やしてほしい。</p> <p>ふれあい健康館など駐車料金がかかる施設が多い。また、オムツやミルク代だけで毎月数万円が必要だが、プレミアム商品券ではとても足りないの、もっと増額してほしい。</p>	<p>いただいたご意見は、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
11	<p>教育・保育施設と小学校との連携方策に、学童保育の充実とあるが、どのように充実を図るのか。</p> <p>小学校低学年には学童保育がなくてはならない。安心して預けられる場所にしてほしい。</p> <p>また、長期休暇のみの学童保育もニーズにあわせて考えてほしい。</p> <p>小学生の間預けられる場所があればありがたい。</p>	<p>低学年の保育のニーズが高いことを踏まえ、運営委員会等受託者には、低学年の受け入れ等についても適切に審査していただくようお願いしております。</p> <p>また、長期休暇の受け入れにつきましても、運営委員会等受託者により行って頂いており、今後においてもニーズ等を踏まえた上での実施をお願いしていくようにいたします。</p>
12	<p>図書館を市内にたくさん増設することはできないのか。</p> <p>徳島駅前まで行かなければ利用できないのでは困る。</p>	<p>図書館は生涯学習施設であり、本計画の範疇に含まれておりません。</p> <p>いただいたご意見については、担当する教育委員会に伝達いたします。</p>
13	<p>この計画が絵に描いた餅にならないよう、市役所全体で努力するとともに、市民の協力も得ながら、目標の達成に向けて頑張してほしい。</p>	<p>いただいたご意見は、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
14	<p>誰でも希望すれば保育所に入れるようにしてほしい。</p>	<p>本計画において、待機児童の解消に向けて、計画期間中の令和2年度から令和6年度までの5年間で、認定こども園等の教育・保育施設の整備を進めることにより、徳島市全体で約700人の保育定員を増やすこととしております。</p> <p>このことにより、保育の利用見込を上回る保育定員を確保できるものと考えております。</p>
15	<p>計画がいつでも、どこでも見れるようにするため、インターネットで公開することを検討してほしい。</p> <p>また、内容が多すぎるのでまとめてほしい。</p>	<p>本計画は今後、冊子版を作成し、市内の教育・保育施設などに配布するほか、本市ホームページ上でも公開することとしております。</p> <p>なお、本計画の内容を見やすくまとめた概要版も作成することとしており、こちらも本計画と同様に本市ホームページ上で公開することとしております。</p>